

別紙

前年度の温室効果ガスの排出の量及び排出削減計画に基づき実施した措置の状況

氏名	(法人にあっては名称) 株式会社クラレ			住所	(法人にあっては主たる事業所の所在地) 〒100-0004 東京都千代田区大手町2-6-4 常盤橋タワー		
本票作成	部署名：技術本部 動力統括部						
主たる業種	分類コード	16	業種名：化学工業				
事業の概要	合成樹脂、合成繊維等の製造 従業員：2,097人 (岡山事業所：980人、倉敷事業所：622人、鶴海事業所：307人、くらしき研究センター：145人)						
県内の主な工場等	番号	工場等の名称			所在地		
	①	岡山事業所			岡山市南区海岸通1丁目2番1号		
	②	倉敷事業所			倉敷市玉島乙島7471番地		
	③	鶴海事業所			備前市鶴海4342番地		
	④	くらしき研究センター			倉敷市酒津2045番地1		
特定事業者の該当要件	<input checked="" type="checkbox"/> ①燃料等原油換算1,500kℓ以上 <input type="checkbox"/> ②バス・トラック100台、タクシー250台以上 <input checked="" type="checkbox"/> ③CO <sub>2</sub> 換算3,000t以上 (●工場等の数 4 所 ●車両台数 (②該当の場合) 台)						

温室効果ガス排出量	基準年度(令和元年度)	(令和2)年度排出量	目標年度(令和4年度)
	761,007 t CO <sub>2</sub>	700,476 t CO <sub>2</sub>	738,177 t CO <sub>2</sub>
主な工場等の排出量	番号	工場等の名称	(令和2)年度排出量
	①	岡山事業所	562,426 t CO <sub>2</sub>
	②	倉敷事業所	119,771 t CO <sub>2</sub>
	③	鶴海事業所	15,852 t CO <sub>2</sub>
	④	くらしき研究センター	2,427 t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>
			t CO <sub>2</sub>

削減目標の達成状況	計画期間：	令和2年度	～	令和4年度	(3箇年度)
	<input checked="" type="checkbox"/> 総排出量基準	(2)年度削減実績	目標削減率	目標達成	
	<input type="checkbox"/> 原単位基準	8.0 %	3.0 %	<input checked="" type="checkbox"/> 達成	<input type="checkbox"/> 未達

(原単位基準の削減目標を選択している場合に記入)	温室効果ガスの排出量と密接な関係をもつ値の内容	原単位当たり排出量		
		基準年度	(2)年度	目標年度
		CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )	CO <sub>2</sub> /( )

(該当事業者のみ記入)

ベンチマーク指標の状況	対象事業の名称	ベンチマーク指標	関連数値(令和2年度)	達成率等

【削減状況の自己評価】

・令和2年度温室効果ガス排出量は、基準年度(令和元年度)に対して、△60,531 t CO<sub>2</sub>(岡山事業所△72,400tCO<sub>2</sub>、倉敷事業所+11,800tCO<sub>2</sub>、鶴海事業所+300tCO<sub>2</sub>)、8.0%減少し、目標とした△1%/年(3年間で△3%)の削減を達成した。  
 ・岡山事業所は、コロナ影響による生産量減少要因が大きかったものの、CO<sub>2</sub>削減の効果と相まって、エネルギー使用量が減少(△12%)したことにより、温室効果ガス排出量は基準年度に対して、△72,400tCO<sub>2</sub>減少(△11%)した。倉敷事業所は、新プラント増強等によるエネルギー使用量増加により、温室効果ガス排出量は、+11,800tCO<sub>2</sub>増加(エネルギー起源：+8,900tCO<sub>2</sub>(+12%)、6.5ガス：+2,900tCO<sub>2</sub>(+9%))した。  
 今後とも、計画した措置を確実に実施するとともに、追加の削減対策を検討する。

**【推進体制】**

事業所長をトップとする環境管理組織で環境改善活動に取り組んでおり、この中で、GHG削減計画に関してはCO2削減専門部会が削減活動の企画、管理を行い、GHG削減活動を推進している。

**【目標削減率達成のために実施した措置及び今後の取組】**

工場等の名称	実施した措置及び今後の取組の内容
(令和2年度実施分) 岡山事業所	(令和2年度実施分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・3号発電機高効率化による省エネ (CO2削減量4,000t/年)</li> <li>・エバールM-3T加圧の熱回収最適化 (高度制御の改善) による蒸気使用量削減 (CO2削減量1,000t/年)</li> <li>・クラーノ廃DMF削減によるDRAスチーム使用量削減 (CO2削減量600t/年)</li> </ul>
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新期クラリスタへの代替による蒸気使用量削減 (CO2削減量45t/年)</li> <li>・膜モジュールPVD紡糸多ホル化 (原単位改善) による電力使用量削減 (CO2削減量100t/年)</li> </ul>
(今後実施予定分) 岡山事業所	(今後実施予定分) <ul style="list-style-type: none"> <li>・ビニロン排熱水有効利用による蒸気削減 (CO2削減量2,380t/年)</li> <li>・ポバールM-2T (B) のトレイ最適化による蒸気使用量削減 (CO2削減量2,070t/年)</li> <li>・ポバール重合B列RS-1023生産時P-8塔留出共沸液のVAM%増加による9塔負荷削減 (CO2削減量3,500t/年)</li> <li>・水管曝気ブロワーINV化による省エネ (CO2削減量290t/年)</li> </ul>
倉敷事業所	<ul style="list-style-type: none"> <li>・バイオマス燃料拡大 (木屑燃料増) による石炭使用量削減 (CO2削減量4,125t/年)</li> </ul>

**【森林保全等吸収源対策への取組】**

県内での取組	無	
その他	無	

**【再生可能エネルギーの導入】**

県内での取組	有	岡山事業所、倉敷事業所で太陽光発電設備を導入し、運用を行なっている。
その他	無	

**【その他特記事項】**

- ・毎週水曜日を「ノー残業デー」として、残業に伴う事務所照明・空調・OA機器の消費電力削減に取り組んでいる。
- ・岡山県のアースキーパーメンバースhipにほとんどの従業員が登録し、各人が目標を設定することで、GHG削減、省エネの啓蒙を行なっている。